

令和2年度事業報告

I. 事業の概要

当協会の主要事業である公益目的事業は、普及認定活動事業及び地域組織活動事業に大別され、具体的には、公認コースの認定事業、アドバイザー・指導員など指導者の認定事業、機関紙やホームページによる広報事業、さらには愛好者拡大のためのイベントの実施や開催への支援、地域組織の強化を図るための事業などが主である。

令和2年度は、新型コロナウイルスの脅威が世界に広がり、パークゴルフにおいても各連合会や市区町村協会の活動に大きな制限が加えられ、各種会議や大会等のイベントの中止を余儀なくされた。コロナ禍に伴う連合会・市区町村協会の活動の縮小やパークゴルフ場の休止に加えて、組織離れ、会員の高齢化、役員の成り手不足などにより、組織の維持や会員や愛好者の減少が危惧されていることもあり、連合会の活性化を図る観点から昨年度は令和2年度に限定した特別交付金を各連合会へ交付した。また、コース会員や直轄普通会員に対しては、のぼりやミニガイドブックなど物品の支給を行った。

もう一つの主要事業である用具用品等の認定と書籍・物品等の販売を主とする収益事業は、前年を下回るものの、一定の収益を確保することができた。

会員の減少や市区町村組織の解散・退会、役員の成り手不足など大きな課題がある一方、令和2年度は普通会員8団体、コース会員4団体、賛助会員2団体が新規会員となり、また9コースが新規の公認コースとなるなど裾野が広がっている状況もある。こうした広がりを更に大きくするとともに、課題解決に向けて連合会等と協議を進める。

II. 協会運営に関する事項

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定時総会は書面表決により決議した。理事会については4回開催し、うち3回は書面表決により決議した。

(1) 令和2年度定時総会（書面表決）

決議があったとみなされる日 令和2年4月23日（木）

議決事項

- ・2019（平成31）年度公益社団法人日本パークゴルフ協会事業報告
- ・2019（平成31）年度公益社団法人日本パークゴルフ協会事業会計収支決算
- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会理事及び監事の選任について

報告事項

- ・令和2年度公益社団法人日本パークゴルフ協会事業計画
- ・令和2年度公益社団法人日本パークゴルフ協会事業会計収支予算
- ・パークゴルフ規則の一部改正
- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会指導者に関する規程の一部改正
- ・正会員の入会承認
- ・令和2年度功労者通常表彰について
- ・第34回パークゴルフ国際大会の開催中止について

(2) 令和2年度理事会の開催

第1回理事会（書面表決）

決議があったとみなされる日 令和2年4月7日（火）

議決事項

- ・2019（平成31）年度公益社団法人日本パークゴルフ協会事業報告
- ・2019（平成31）年度公益社団法人日本パークゴルフ協会事業会計収支決算
- ・令和2年度功労者通常表彰の決定
- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会役員の報酬、費用弁償及び通勤手当支給要綱の一部改正
- ・第34回パークゴルフ国際大会の開催中止について
- ・令和2年度定時総会の決議の省略について

報告事項

- ・会員の入会承認
- ・公認コースの認定及び取り消し

第1回臨時理事会（書面表決）

決議があったとみなされる日 令和2年5月7日（木）

議決事項

- ・会長、副会長、常務理事の選任について
- ・顧問の推薦について
- ・「第34回パークゴルフ北海道オープン」開催中止について
- ・「NPGA杯第10回全日本パークゴルフ大会2020 関東 in 千葉」開催中止について

第2回臨時理事会

令和2年10月29日（木）14:00～16:00 帯広市

議決事項

- ・理事会及び定時総会等の開催について
- ・主催大会について
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う連合会等への支援について
- ・債権放棄について

報告事項

- ・代表理事、業務執行理事の職務執行状況の報告
- ・会員の入会承認及び退会
- ・公認コースの認定及び辞退
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止に伴うコース会員等への支援について

第2回理事会（書面表決）

決議があったとみなされる日 令和3年2月22日（月）

議決事項

- ・令和3年度功労者通常表彰の決定
- ・令和3年度事業計画
- ・令和3年度事業会計収支予算
- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会定款の変更（案）について

- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会会費規程の一部改正（案）について
- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会主任指導員規程の一部改正
- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会公認コース認定規程の一部改正
- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会職員服務規程の一部改正
- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会職員給与規程の一部改正
- ・令和3年度定時総会の決議の省略について

報告事項

- ・会員の入会承認及び退会
- ・公認コースの認定及び辞退

※組織概要（令和3年2月末現在）

①日本協会加盟団体（会員数）	860		
【正会員（連合会）】	41		
【普通会员】	432	【コース会員】	340
【一般賛助会員】	34	【工業会賛助会員】	13
②コース数	1,216コース	（うち公認コース	354コース）

III. 事業の実施に関する事項

1. 公益目的に係る事業

日本国内におけるパークゴルフの普及振興を図り、もって人々の心身の健全な発達と生涯スポーツの振興に寄与するために次の事業を実施した。

(1) 認定事業

1) コース認定事業

○新規申請及び更新申請コースを随時審査・認定した。

（認定審査委員会は、原則隔週木曜日に開催）

新規 10 コース、 更新 14 コース、 増設・変更 1 コース

2) 指導者認定等事業

○パークゴルフの普及・指導にあたる指導者を養成し、かつ資質の向上を図り、組織的指導体制の確立を図るために実施した。コロナ禍により、集合しての認定講習会が開催できない場合は、書類審査のみによる認定となった。

実施主体 各連合会、市区町村協会、日本協会 54 回実施

指導員 1,098 人、 アドバイザー 573 人

(2) 普及事業

パークゴルフ発祥の原点である「自然を大切に・世代間の交流・安全で楽しいスポーツ」を理念として愛好者の拡大を図るために各連合会及び協会が各種事業を実施した。手指消毒、体温測定、3密回避など新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら開催された。

1) パークゴルフふれあい事業

①新しいパークゴルフ愛好者への普及活動

- 初心者教室
- 小・中・高校生への啓蒙活動・学校への出前教室等
- 三世代パークゴルフ交流会を各地で開催
- 連合会等普及活動事業支援（20 事業）

②地域間交流、世代間交流を推進するための大会の開催及び後援活動

○日本パークゴルフ協会の主催事業（3事業・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

・「NPGA杯第10回全日本パークゴルフ大会 2020 関東 in 千葉」

10月9日（金）総合開会式・交流会 10・11日（土・日）競技

・「第34回パークゴルフ国際大会」 北海道幕別町 6月21日（日）

・「第34回パークゴルフ北海道オープン」 北海道恵庭市 7月5日（日）

○地域連合会との協賛大会

全国大会 下記6大会全て新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

・「第24回パークゴルフ全国交流大会 さくらカップ」宮城県大崎市

5月9・10日（土・日）

・「パークゴルフ全国大会 りんどうカップ 2020」岩手県洋野町

6月13・14日（土・日）

・「第7回全国パークゴルフ十和田大会」青森県十和田市

7月25・26日（土・日）

・「第14回全国パークゴルフ交流大会 in 射水」富山県射水市

9月13日（日）

・「第26回パークゴルフ全国大会イン開成」神奈川県開成町

11月8日（日）

・「2020 相馬松川浦カップ全国パークゴルフ選手権大会」福島県相馬市

12月5・6日（土・日）

○複数パークゴルフ協会連合会共同主要大会

7事業全て新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

③パークゴルフ協会等の組織強化の取り組み

○協会、連合会設立に向けて各地域との相談業務

○令和2年度 都道府県パークゴルフ協会連合会連絡会議

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

下記の連絡事項を書面にて通知

・ブロック会議について

・連合会普及活動事業支援金について

・「NPGA杯第10回全日本パークゴルフ大会 2020 関東 in 千葉」について

・「第34回パークゴルフ国際大会」について

・「第34回パークゴルフ北海道オープン」について

・指導者に関わる規程の一部改正について

・日本レクリエーション協会への加盟について

・国際パークゴルフ連盟の設立について

○コロナ禍で影響を受けた連合会、市区町村協会、コース会員等へ支援を行った。

④改正後のパークゴルフ規則の施行

・改正後のパークゴルフ規則が令和2年3月1日から施行されたが、コロナ禍により予定されていた研修会等が開催中止となり、新ルールの周知が行き届かなかった。

⑤体育協会等の連携促進の取り組み

- ・昨年度加盟した日本レクリエーション協会との連携を図った。

⑥パークゴルフの日（8月9日）の宣伝活動の実施

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら大会・交流会・教室等を実施

⑦海外普及活動

- ・一昨年度に設立した国際パークゴルフ連盟（IMPFG）については国際大会等の開催中止により活動ができなかった。
- ・パークゴルフ普及に関心のあるカナダ、スコットランドからの問い合わせに対応した。

2) 広報事業

協会機関紙の発行は、年5回（奇数月発行・合併号1回）で毎号約8200部発行。NPGA全会員、指導員、関係機関等に配付及び定期購読者へ配付、各地域の普及活動を紹介し、愛好者の増大につながる情報を伝えた（スポーツ振興くじ助成を活用）。ホームページを運営し、広くパークゴルフの認知拡大を図った。

- ・今年度は当協会主催事業の中止が相次ぎ主催事業紹介の紙面が減ったが、その分新型コロナウイルス感染予防を周知する紙面や過去の寄稿文等の掘り起こしを行うなどの紙面展開を通じて、愛好者に身近に役立つ情報を伝える広報活動に努めた。
- ・ホームページでは、新たにコース所在地を地図上に配置する仕様を追加やパークゴルフ関連の講演録・寄稿やパークゴルフの効果に関する資料をアップして情報提供の場を広げた。
- ・パークゴルフを気軽に体験できるようA3サイズ（六つ折り）のリーフレットを作成し、新しい愛好者を増やす事業を行った。（新規事業）既存のクリアファイルやリーフレットを配付し、パークゴルフのPRに努めた。（継続事業）

3) 研修会等事業

○ 指導者研修会の開催

パークゴルフの指導にあたる指導者（アドバイザー・指導員）の資質の向上を図るために実施。コロナ禍により、集合しての研修会が開催できない場合は、書類申請のみによる研修会受講を認めた。

実施主体 各連合会、市区町村協会、日本協会

延 173 日実施、 指導員 2,703 人、アドバイザー 2,951 人

2. 収益目的に係る事業

(1) パークゴルフ用具の認定

- 公認申請用具（新規・更新）は、認定審査委員会を開催し、認定した。

（認定審査委員会は、原則隔週木曜日に開催）

令和2年度パークゴルフ用具の認定数（認定シール発行数）

認定品目	商社数	認定数	備考
クラブ	13社	37,410本	
ボール	8社	215,600個	
ティー	5社	20,050個	

(2) 商標使用申請の承認は、認定審査委員会を開催し承認をした。

(認定審査委員会は、原則隔週木曜日に開催)

・使用料免除 17件(すべて営利目的外)

(3) 書籍等販売事業

○ パークゴルフの正しい普及のため、「オフィシャルガイドブック等」を販売した。

・オフィシャルガイドブック 6,801冊

・ミニブック 日本語 22,236冊、英語 248冊

○パークゴルフの普及のため、「バッチ・のぼり」を販売した。

・パッキーのぼり 69枚

・表彰用メダル 18個

・バッチ 5個